

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュきくち			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出する機会が多く、社会への交流が盛ん。	・大きな公園や博物館等出かける事が多くある為子どもが興味を持ったり社会のマナーやルールを学ぶ良い機会となっている。 ・利用者からのリクエストに応えている。	・人員の補填で個別で付き添いが必要な子へのケアを手厚くしたい。
2	スタッフ間のコミュニケーションがスムーズで今日の出来事など全員が共有している。	・その日の活動内容を決める際、固定のプログラムにとらわれず、児童のしたいことを満足するまで行えるように柔軟に活動を決定している。	
3	児童同士での関わりを大切にしている。	・成功体験を積むために、肯定的な声掛けを意識している	・人員の補填で個別で付き添いが必要な子へのケアを手厚くしたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別の部屋がないため、児童による癇癢や他害時の対応、個別ですべき支援に困難がある。	・児童の年齢や特性、活動内容に合わせた人数配置	職員で連携をとって、円滑な支援が出来るようにしていく
2	個別対応が必要な児童がいる場合に人員不足を感じる	・個別対応が必要な児童に合わせた部屋分け	活動内容を分ける
3	全体的に人員不足	求人活動の滞り	求人活動を各所、インターネット、ハローワーク、現地等で行う。